

街道を歩く

中山道：伏見宿西一今渡一太田

入口



今渡

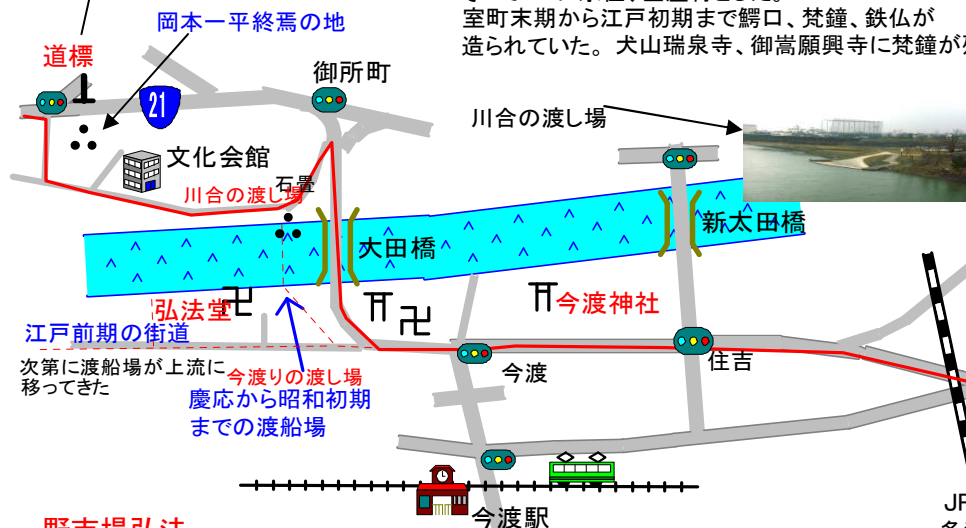
江戸時代は野市場村と金屋村に分かれていた
金屋村は鋳物師の集落であった。
河内の国の鋳物師宗匠長谷川小輔藤原家次が
奥州からの帰途、東山道下土の恵女洞之郷通る
その時天地が振動し池より龍がのぼる神変に会う
そこでここに永住、金屋村とした。
室町末期から江戸初期まで鰐口、梵鐘、鉄仏が
造られていた。犬山瑞泉寺、御嵩願興寺に梵鐘が残る。



今渡神社



北アルプス槍ヶ岳の開祖として
名高い播隆上人は伏見宿と
近隣の比衣村、中村、古屋敷村
など訪れて足跡を残した。



上恵土城址

本郷大屋敷、築城年代不詳、城主
長谷川五郎左衛門は天正10年(1582)
6月金山城主森長可に滅ぼされる。



上恵土神社

播隆上人書の碑

子規の句碑

道標 "すげ笠の生国"

このあたり
上恵土城跡
城跡何もない
住宅になっている

上恵土地蔵堂 名のとほととぎす

長塚古墳

全長80m、後円部直径46m、高さ6.3m
東濃地方最大級の前方向後円墳
4世紀末—5世紀に築造とみられる。

西寺山古墳

現在は全長43mの前方向後円墳、前方部が
削られているが以前は65mとのこと
古墳前期(4—5世紀)築造とみられる。

弘福寺

かつてこのあたりに一里塚
があったという

野市場弘法

文正年間(1466)船頭幸助が河の中で
光り輝く地蔵を見つけ息子とともに
河の中に潜って迎え庵を造って信仰した。
眼病にご利益があるとか。

太田の渡し

江戸前期、中山道は土田まで延び渡町には一里塚
木曾川を渡って祐泉寺の東に出ていたようこの辺を
初期の太田の渡しとされていたとされていた。
以後渡しは激流をさけ順次上流へ、江戸時代半ば
には現太田橋下流近くへ、慶応から昭和の初めま
太田橋の下100m近くであった。今も石畳が残る。
"木曾の架け橋、太田の渡し、碓井峠がくばよい"
とうたわれた程の難所のひとつ。



長塚古墳



上恵土地蔵堂



子規の句碑